## 論文を検索する

### CiNii Aricles 編

# CiNiiとは?

• そもそもCiNiiとは?

▶国立情報学研究所(Nii)が管理運営する「論文」「図書・雑誌」 「博士論文」が検索可能なデータベースサービスです。 その中でも論文検索に特化したのが「CiNii Articles」です

### CiNii Articlesの特徴

▶膨大な論文情報をキーワードで検索出来る

▶WEB上で本文が公開されている場合は連携リンクあり

(各大学、研究機関等の機関リポジトリ、J-STAGE等のデータベースへのリンクが貼られています)

▶検索結果が一覧で表示されるので<u>先行研究</u>が把握し易い

先んじて行われた研究のこと。

これを調査することにより、自分が行おうとしている研究・調査がどの分野のどんな位置に当てはまるかを確認することができます。







#### キーワード:「大学図書館」(スペース)「役割」の結果画面 2018.9.7時点

	<u>論文検索</u> 著者検索 全文検索 大学図書館 役割		検索	
	すべて	本文あり	▶ 詳細検索	
検索結果: 356件中 1-200 を表示 タイトルをクリックすると詳細ペ (次頁で解説)	パージへ 1 2 >	「本文あり」に切り換えて WEB上に公開があるもの	検索すると Dだけを表示します	学協会向け論文電子化・公開サービ 出版年:新しい順 🗸 表示
▶ 次世代の大学図書館を目指して:山口県立大学大学図書館の取り組 岩野 雅子,松田和也 … 中央教育審議会『学士課程教育の構築に向けて(審議のまとめ)』(平成20年)をは 館の機能強化が図られ、多くの大学図書館内にラーニングコモンズ(アクティブ・ラ 山口県立大学学術情報 11,101-109,2018-02-28 機関リポジトリ 「京都女子大学フルテキスト情報」 京都女子大学のPAC	みについて さじめ、『新たな未来を築くための大学教育の質的転換にも ラーニング・スペース)が設置されるようになった。…	3けて~生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大	「学へ〜』 (平成24年)では、学生の主体的な	プ
講演         オープンアクセスと大学図書館の役割の再考(第78回(2017年 佐藤 義則           私立大学図書館協会会報 = Bulletin of Japan Association of Private University I           京都女子大学フルテキスト情報           京都女子大学OPAC	<b>年度) 私立大学図書館協会総会・研究大会 学術</b> Libraries (149), 123-145, 2018-02	情報のオープン化と大学図書館) 検索欄に	こ入れたキーワードと台	2 合致した部分が
■ 大学図書館員のための大学IR講座 -大学IRにおける大学図書館の 船守 美穂 … 近年,大学図書館漢界においても,「大学IR」という言葉を耳にするように 情報の科学と技術 68(3), 92-98, 2018 J-STAGE 京都女子大学フルテキスト情報 京都女子大学OPAC	<b>可能性とは?</b> になったため,本小論では,大学IRの成り立ちや概要,大 <sup>4</sup>	アイライト タイトルた ビットする	<(黄色)で表示されま ごけではなく、抄録や雑 う項目を絞りたいときに	す。 推誌名にもヒットします。 は <mark>詳細検索</mark> を使いましょ

#### 各連携サービスへのリンク

- ・機関リポジトリ:大学・研究機関のリポジトリへのリンク。クリックすると該当ページへアクセスできます。
- -J-STAGE:登録された学会誌の検索し、閲覧が行える他、引用されている論文に関してもその抄録や本文が閲覧出来る機能を備えています。
   ※J-STAGEは科学技術振興機構が管理するデータベースサービスです。
- ・京都女子大学フルテキスト情報:京女が契約しているe-book, e-journalにフルテキストがないか検索できます。
- ・京都女子大学OPAC:京女OPACのリンク。クリックすることにより、論文が収録されている学術雑誌が図書館に所蔵されているか確認ができます。

詳細ページの見方

#### タイトルクリック後の詳細ページ

Current Trends of edooks Services at Academic Unive	ersity Libraries in the United States	of America 論文(	のタイトル		キーワード
○ グッド 長地広行 GOOD Hiroyuki Nagahashi ビッツバーグ大学回巻館 University Library System, Unive rsity of Pittsburgh		著者名と著る	皆の所属		電子書籍サービス 電子書籍の利用 電子書籍 電子:
この論文にアクセスする	連携サービス	がある場合は		えんしゅう しょうしょう しゅうしゅう しゅう	
a J-STAGE	ここにボタンが	表示されます	その他の表記	â doi	字生利用調査 教員利用調査 名種コード
この論文をさがす					NII論文ID(NAID): 130005180696
	京都女子大学フルテキス テ <b>ムミ 川口 全子 〜 〜 〜 〜 、 こ 次任</b> 号		AC まできます		NII書誌ID(NCID): AN10005857 本文言語コード:
- <del>加</del> 入 - 初録		心リア川蔵1月羊区で作物	※ いてまり ノ		JPN ISSN :
					0913-3001
米国では電子資料の増加にともない大学回書館の役割が、厳書構築から学習ス 数年の電子書籍を取巻く環境は、私たちが予想していたものとは違うようだ。学生に ら深り、大学回書館で電子審賛サービスを支える職員たちの取り組みを報告する。 The expected role of university libraries is changing from developing coll f ebooks to facilitate the transformation and improve user supports. Howeve ult to read, and the ebook budget is decreasing. This paper examines two re of Pittsburgh Library. Last but not the least, this paper also offers some sugg	ペースの提供や更なる学習支援に転換してきている。私 よいまだ紙書籍を好み,電子書籍の読み辛さは改善され 要像に日本諸電子書籍(小の要疑を示える。 lections to increasing digital resources as well as off r, the environment of ebook services in recent year cent national surveys to clarify challenges to ebook gestions for the Japanese ebook industry.	たちは電子書籍の増加が回書館サービスの軌 ず,大学回書館の電子書籍購入予算は減少し fering more study space to support unde s seems different from our expectation ; services. This will be followed by a disc	換を促し,利用者支援を向上させ ている。本稿ではその問題と原因 Irgraduate students. Most of us students still prefer printed bo ussion of the efforts to tackle th	ると期待してきた。しかしここ を2つの最新の全米調査報告書か have expected the increase o oks, ebooks are still very di ic se challenges at the University	US13-3501 NDL 記事管鎖D: 027815965 NDL 請求記号: 221-144 DOI: 10.18919/jkg.67. データ提供元: NDL J-STAGE
<a href="https://www.setabulket.edu/wwww.setabulket.edu/wwww.setabulket.edu/www.setabulket.edu/www.setabulket.edu/www.setabulket.edu/www.setabulket.edu/wwww.setabulket.edu/wwwwwwwwwwwwwwwwwwwwwwwwwwwwwwwwwwww</th> <td>ペースの提供や更なる学習支援に転換してきている。私 はいまた紙書籍を好み,電子書籍の広み辛さは改善されて 最後に日本語電子書籍への要望を添える。 lections to increasing digital resources as well as off r, the environment of ebook services in recent year cent national surveys to clarify challenges to ebook gestions for the Japanese ebook industry.</td> <td>たちは電子書籍の増加が図書館サービスの斬 ず,大学図書館の電子書籍購入予算は減少し fering more study space to support unde s seems different from our expectation ; services. This will be followed by a disc</td> <td>換を促し,利用者支援を向上させ ている。本稿ではその問題と原因 rgraduate students. Most of us students still prefer printed bo ussion of the efforts to tackle th</td> <td>ると期待してきた。しかしここ を2つの最新の全米調査報告書か have expected the increase o oks, ebooks are still very diric e challenges at the University</td> <td>NDL 記事登録D :: 027815965 NDL 請求記号 : 221-144 DOI : 10.18919/jkg.67. デーダ提供元 : NDL J-STAGE 書さ出し</td>	ペースの提供や更なる学習支援に転換してきている。私 はいまた紙書籍を好み,電子書籍の広み辛さは改善されて 最後に日本語電子書籍への要望を添える。 lections to increasing digital resources as well as off r, the environment of ebook services in recent year cent national surveys to clarify challenges to ebook gestions for the Japanese ebook industry.	たちは電子書籍の増加が図書館サービスの斬 ず,大学図書館の電子書籍購入予算は減少し fering more study space to support unde s seems different from our expectation ; services. This will be followed by a disc	換を促し,利用者支援を向上させ ている。本稿ではその問題と原因 rgraduate students. Most of us students still prefer printed bo ussion of the efforts to tackle th	ると期待してきた。しかしここ を2つの最新の全米調査報告書か have expected the increase o oks, ebooks are still very diric e challenges at the University	NDL 記事登録D :: 027815965 NDL 請求記号 : 221-144 DOI : 10.18919/jkg.67. デーダ提供元 : NDL J-STAGE 書さ出し
<	ペースの提供や更なる学習支援に転換してきている。私 よいまだ紙書籍を好み,電子書籍の(読み辛さは改善されて 最後に日本語電子書種への要望を添える。 lections to increasing digital resources as well as off r, the environment of ebook services in recent year cent national surveys to clarify challenges to ebook gestions for the Japanese ebook industry.	たちは電子書籍の増加が図書館サービスの転 ず,大学図書館の電子書籍構入予算は減少し fering more study space to support unde s seems different from our expectation ; services. This will be followed by a disc	換を促し,利用者支援を向上させ ている。本稿ではその問題と原因 irgraduate students. Most of us students stüll prefer printed bo ussion of the efforts to tackle th	ると期待してきた。しかしここ を2つの最新の全米調査報告書か have expected the increase o oks, ebooks are still very di ic te challenges at the University	NDL 記事登録D:           027815965           NDL 講承記号:           221-144           DOI:           10.18919/jkg.67.           データ提供元:           NDL提表工書書出し           RefWorksに書書出し           RefWorksに書書出し           Refer/Biblyで表示           Pisで表示
<	ペースの提供や更なる学習支援に転換してきている。私 よいまだ紙書籍を好み、電子書籍の成み辛さは改善されて 意識に日本語電子書籍への要望を添える。 lections to increasing digital resources as well as off r, the environment of ebook services in recent year cent national surveys to clarify challenges to ebook jestions for the Japanese ebook industry.	たちは電子書籍の増加が図書館サービスの転 ず,大学図書館の電子書籍購入予算は減少し fering more study space to support unde s seems different from our expectation ; services. This will be followed by a disc	換を促し、利用者支援を向上させ ている。本稿ではその問題と原因 argraduate students. Most of us students still prefer printed bo ussion of the efforts to tackle th	ると期待してきた。しかしこ: を2つの最新の全米調査報告書か have expected the increase o oks, ebooks are still very di ic ae challenges at the University	0513-3501           NDL [法事登録D :           027815965           NDL 講求記号:           221-144           DOI:           10.18919/jkg.67.           データ提供元:           アンタ提供元:           RefWorksに書き出し           RefWorksに書き出し           RefWorksに書き出し           Refer/BlblXで表示           B157年表示

## 収録刊行物情報の見方



①雑誌のタイトル
②巻号表記:67(1)は67巻1号を表します。()の表記がないものも存在します。
③掲載ページ:19-24はP.19~P.24ページに記載があることを示します。
④発行年
⑤出版者



収録刊行物情報の記述方法は他のデータベースでも採用されています。 覚えておくとスムーズに調べ物ができますよ!

## 各種コード情報の見方



①各論文に付与されている個別の識別番号 入力すると論文個別の詳細情報(P.5参照)が呼び出せます。

2 論文が収録されている雑誌の書誌ID 検索窓に入力するとその雑誌に収録されている論文を一覧で呼び出せます。

③論文が収録されている雑誌のISSN

④DOI=Digital Object Identifier
 電子データに付与される識別子を指します。
 論文を公開しているデータベースなどへ簡単にアクセス出来ます。

雑誌・図書を探すための情報(書誌情報)の内、その雑誌・図書へ付与された 記号を指します(同タイトル雑誌や同タイトルシリーズの場合は同じIDが付与さ れます)。CiNiiの場合はNACSIS-CAT(目録所在情報サービス)の書誌レコー ドID(NCID)を採用しており、京女でもNCIDを使用しています。 ※各大学・公共図書館によっては独自の書誌IDを作成・採用しています



雑誌を探す(2)



### WEB・学内にない場合① 【他館閲覧依頼】

①【無料】雑誌を所蔵している大学に行って閲覧+複写する

カウンター付近に設置されているピンク色の紙に氏名・連絡先・雑誌名・閲覧希望 日・希望大学などの必要事項を記入し、メディアカウンターへお持ちください。

※記入方法について不明な点があればスタッフまでお気軽にお尋ねください。

以下の点にご注意ください

★閲覧期間は1週間以内としてください(依頼館によって期限が設けられています)。
 ★ご回答までには2~3日かかります。
 ★相手館の都合(休館や書架整理中等)により謝絶となる場合がございます。
 ★相手館での複写代・交通費はご自身でご負担ください。

★キャンセルは基本的に不可です。

どうしても行けなくなった場合はお早めに京女図書館カウンターへご相談ください。

### WEB・学内にない場合② 【学外文献複写依頼】

②【<u>有料</u>】雑誌を所蔵している大学に依頼し、複写物を取寄せる

カウンター付近に設置されている黄緑色の紙に氏名・連絡先・雑誌名・論文名・掲載ページ数、発行年等の必要事項を記入し、アクティブカウンターへお持ちください。

※記入方法について不明な点があればスタッフまでお気軽にお尋ねください。 ※学内所蔵・WEB公開などが見つかった場合は学内メールにてお知らせします。

以下の点にご注意ください

★有料(35~50円/枚+郵送料(+手数料))のサービスです。
 ★1論文につき、1枚ご使用ください(最大で10件まで申し込めます)
 ★受取りに1週間~10日ほどかかります(試験期等は日数がかかる場合があります)
 ★所蔵が確認されなかった場合、謝絶となる場合がございます。
 ★依頼は国内の大学に限ります。



Q1.雑誌は借りられますか?

A1.いいえ借りられません。必要箇所を複写してください。 複写される際はB1Fと2F設置のコピー機でどうぞ。 また、最新号の雑誌は論文全体の複写は出来ません。



※閉館1時間前から利用出来るオーバーナイト貸出制度をご利用いただければ2冊まで貸出可能です。 詳細はカウンターへお問い合わせください。

Q2.学術雑誌コーナーの並び方はどのようになっていますか?

A2.京女の図書館では雑誌にも請求記号を付与しています。 集密書架の向かって左から請求記号順に排架されています。 紀要のみ左端の棚に排架されています。





論文や雑誌について分からないことがあれば、 最寄りのカウンターのスタッフへどうぞお気軽にお尋ねください